



訪問ガイド 2026

サンティアゴ・ベルナ ベウ競技場

マドリード・から 45€

<https://realmadrid.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

白き宮殿の栄光ある歩み

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 233 レビュー

TIQETS **4.4** ★★★★★☆ 5 592 レビュー

サンティアゴ・ベルナベウ競技場の歴史は、1943年にサントス・ベルナベウがレアル・マドリードの会長に就任したことから始まります。当時のクラブの本拠地であったシャマルティン競技場は、クラブの野望には小さすぎると判断し、新しい巨大スタジアムの建設プロジェクトを立ち上げました。1944年10月27日に着工し、3年以上の工事を経て、1947年12月14日に「ヌエボ・エスタディオ・デ・シャマルティン」として開場しました。公式オープニングマッチではポルトガルのベレネンセスと対戦し、サビノ・バリナガがこの新聖地で最初のゴールを記録しました。

1950年代に入ると、スタジアムは急速に拡大していきます。1954年の第一次大規模改装により、収容人数は最大**125,000**人に達し、ロンドンのウェンブリーに次ぐ欧州第2位の巨大スタジアムとなりました。この膨大な規模は、当時創設されたばかりのUEFAチャンピオンズリーグ（当時は欧州カップ）において、レアル・マドリードが欧州制覇を果たすための強力な後押しとなりました。1955年、クラブ総会で会長への敬意を表し、「サンティアゴ・ベルナベウ」と改名されました。

技術面でも革新が続きました。1957年には初めて電気照明が導入されましたが、当初の強度は400ルクスにとどまっていた。夜間試合に適した本格的な照明システムが整備されるのは1969年になってからのことです。この間に、1964年のユーロ決勝でスペイン代表がソ連を破り、約10万人の熱狂的なサポーターの前で初の国際タイトルを獲得する歴史的瞬間を迎えました。この勝利は、スペインサッカー史における重要な転換点となりました。

1982年のワールドカップ開催に向けて、スタジアムはさらにモダン化されました。FIFAの基準に合わせて屋根が設置され、収容数は98,776席に調整されました。その後、2000年代初頭および2020年から2024年にかけての大規模な改装が行われ、現在では**83,186**席の最先端施設へと生まれ変わりました。開閉式屋根やハイブリッド芝生など、現代サッカーの最高峰を体現する設備が整えられ、過去の栄光と未来のビジョンが見事に融合しています。

体験

スタジアムの入口をくぐると、まず目を奪われるのはその圧倒的なスケールと未来的なデザインです。2024年に完成した改装により、外観は銀色のメッシュ構造で覆われ、夕暮れ時には周囲の街並みと調和しながらも際立つ存在感を放ちます。内部に入ると、空気の質が変わるような感覚を覚えます。ここは単なるスポーツ施設ではなく、生きた博物館であり、何世代にもわたる情熱が込められた空間なのです。光がスタンドの曲線に沿って滑らかに流れ、訪れる者の心を静かに高めていきます。

選手トンネルを進むにつれて、足元のコンクリートから微かに響き渡る過去の歓声仿佛聞こえてくるようです。ベンチ席に手を触れる瞬間、ディエゴ・マラドーナやミシェル・プラティニといった伝説の選手たちがここで休んだことを思い知らされます。ピッチに降り立つと、緑豊かな芝生が広がり、その向こう側には赤いシートが波打つように配置されています。この空間は、テレビ画面越しに見ていた映像とは比べ物にならないほど臨場感があり、感動の渦に巻き込まれる体験を提供します。



訪問の準備

実用的な情報

住所

チャマルティン地区・地下鉄: サンティアゴ・ベルナベウ駅 (M10線、直結出口) または ヌエボス・ミニステリオス駅 (M6, M8, M10線、徒歩10分)

営業時間

季節や試合日程により変動します。特に週末は、訪問前に必ず公式サイトで確認してください。

料金

41€から。子供や学校グループには割引あり。{promo}。

所要時間

博物館を含む完全な見学には1時間30分から2時間を計画してください。ガイド付きツアーは少し長くなる場合があります。

写真撮影

ピッチやスタンドを含むほとんどのエリアで写真撮影は許可されています。博物館内ではトロフィー保護のためフラッシュ禁止です。

対象客層

サッカーファンや家族に最適。没入型体験は、現代的なアクセシビリティのおかげで、ティーンからシニアまで幅広く楽しめます。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄

: パセオ・デ・ラ・カステジャーナ・パレス – 2 min à pied
マドリード・アトチャ駅 (18 min)・サンティアゴ・ベルナベウ (6 min)



バス

: サグラドスコラソネス – 4 min à pied
マドリード・アトチャ駅 (29 min)・サンティアゴ・ベルナベウ (9 min)



自動車

マドリード・アトチャ駅 (20 min)・サンティアゴ・ベルナベウ (4 min)



BiciMAD / 自転車

マドリード・アトチャ駅 (26 min)・サンティアゴ・ベルナベウ (3 min)

LOCALISATION

Où se trouve サンティアゴ・ベルナベウ競技場？



📍 Av. de Concha Espina, 1, Chamartín, 28036 Madrid – 28036 マドリード

🌐 40°27.146' N, 3°41.208' O



組織

見学コースの構成と流れ

レベル1：エントランス & ミュージアム

入場口からは直接クラブミュージアムへと続きます。ここではレアル・マドリードの歴史を時系列で振り返ることができます。初期のユニフォーム、歴代選手のサイン入りボール、そして何より輝かしいトロフィーコレクションが展示されています。特に15個のUEFAチャンピオンズリーグトロフィーは必見です。各トロフィーの説明プレートを読みながら、クラブの黄金時代を理解しましょう。

レベル2：ロッカー室 & トンネル

ミュージアムを出て、選手用通路へと進みます。ここがツアーの最も感情的な瞬間です。狭いトンネルを進むと、本物のロッカー室が現れます。ベンチ席には実際に座ることができ、試合直前の緊張感を想像することができます。壁には歴代名選手の写真や名言が飾られており、彼らの精神に触れることができます。

レベル3：ピッチ & スタンド展望

最後に、ピッチサイドの特別エリアへと移動します。ここではハイブリッド芝生を間近で見学でき、その品質の高さに驚かされます。さらに上層のスタンドへと上がり、83,186席の全体像を一望できます。開閉式屋根の構造も観察でき、建築工学の粋を集めた設計の巧みさを理解できます。写真撮影の最高のポイントでもあります。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

2024年の改装後、エレベーターとスロープを通じてスタンド、博物館、ロッカーへの完全アクセスが可能。

ファミリー向け

子供向け割引料金、安全なスペース、サッカーファンの子供に適した楽しいコース。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



選 択

絶対に逃せない名場面スポット

01

ミュージアム中央ホール

UEFAチャンピオンズリーグトロフィーコレクション

レアル・マドリッドが獲得した**15個のCLトロフィー**が一堂に会しています。これは世界最多の記録であり、クラブの支配力を象徴しています。各トロフィーはドラマチックな照明の下で展示され、その重厚感が伝わってきます。説明プレートを読むことで、それぞれの勝利の背景にあるストーリーを知ることができます。

💡 1956年から1960年までの5連覇は、今でも破られていない記録です。この時代のトロフィーは、欧州サッカー史における最も重要な遺品の一つと言えます。

02

ロッカー室接続通路

選手用トンネル

試合開始前に選手たちが通る実際のトンネルを歩くことができます。狭く暗い空間は、ピッチへの入場直前のアドレナリン溢れる雰囲気再現しています。壁には「La Casa Blanca」のロゴが光っており、ファンにとっては聖地参拝のような体験になります。

💡 多くの選手が、このトンネルを通った瞬間に人生最大の緊張感を感じたと言っています。そのエネルギーを肌で感じてみてください。

03

ホームチームロッカー室

本物ベンチ席

試合中に監督や控え選手が座る本物のベンチに座ることができます。ピッチからわずか数メートルの距離にあり、プレーヤーたちの息遣いまで聞こえてきそうな錯覚に陥ります。クッションの質感や背もたれの角度まで、プロ仕様の細部が確認できます。

💡 ゼネラル・マネージャーや監督が、ここで戦略を練っていた痕跡が残っています。決断の瞬間を想像してみてください。

04

ピッチサイド展示区

ハイブリッド芝生サンプル

2024年改装で導入されたハイブリッド芝生の断面模型が展示されています。天然芝と人工繊維を組み合わせることで、耐久性とプレイ性を両立させています。この技術により、年間を通じて最高のピッチ状態を維持することが可能になりました。

💡 この芝生は、毎週数百時間のメンテナンスを受けています。プロフェッショナルなケアの重要性を実感できる展示です。

05

建築展示コーナー

開閉式屋根モデル

世界最大級の開閉式屋根の動作モデルが展示されています。電動式のスライド機構により、わずか数分で天候に対応できます。この技術的革新は、ベルナベウを他のスタジアムと差別化する重要な要素となっています。

💡 屋根の重量は数千トンにも及びますが、精密な制御システムにより安全に操作されます。エンジニアリングの奇跡と言えるでしょう。

06

歴史ギャラリー

初代ユニフォーム展示

1902年創業以来の初期ユニフォームが保存されています。シンプルな白地に青のストライプから、現在の洗練されたデザインまでの進化を追跡できます。素材の変化や縫製技術の向上も観察でき、ファッション史としても興味深いです。

💡 最初のユニフォームは、手縫いで作られました。当時の職人の技が今でも残っていることに驚かされます。

07

エントランスホール

サビノ・バリナーガのゴール記念碑

1947年12月14日、最初のゴールを記録したサビノ・バリナーガに捧げられた記念碑が設置されています。彼の得点シーン写真は、スタジアムの歴史の始まりを象徴しています。この瞬間がなければ、今日の栄光は存在しなかったでしょう。

💡 バリナーガは、そのゴール後、涙ながらに喜びを表現しました。その感情は今も伝わってくるようです。

08

ナショナルチームコーナー

ユーロ1964優勝記念室

1964年、スペイン代表がベルナベウで初の国際タイトルを獲得した瞬間を再現した展示室です。ソ連との決勝戦の映像、選手たちのインタビュー、そして10万人のサポーターの声が再生されます。国民統合のシンボルとなったこの勝利の重みが伝わってきます。

💡 試合終了後、選手たちはピッチ上で国歌斉唱を行いました。その光景は、スペイン史上最高の瞬間の一つとして記憶されています。

アドバイス

完璧な訪問のための秘訣

TIMING

朝一番の入場を推奨します。午前中は光の条件が良く、ファサードの撮影に最適です。また、混雑を避け、ゆっくり見学できます。

PARCOURS

ミュージアム→ロッカー室→ピッチサイドの順に進みましょう。感情的なピークであるトンネル体験を最後に持っていくと、印象が強くなります。

PAUSE

見学後にサラマンカ地区のカフェで休憩しましょう。カステラーナ通り沿いには、本格的なコーヒーショップが多数あります。

AUDIOGUIDE

フランス語対応のオーディオガイドを利用すると、詳細な歴史的背景を理解できます。特にトロフィー展示室では、解説が不可欠です。

BILLET

必ずオンラインで事前予約してください。特に夏や週末は列が非常に長くなります。スキップ・ザ・キューチケットを選べば、待ち時間がゼロになります。

PHOTO

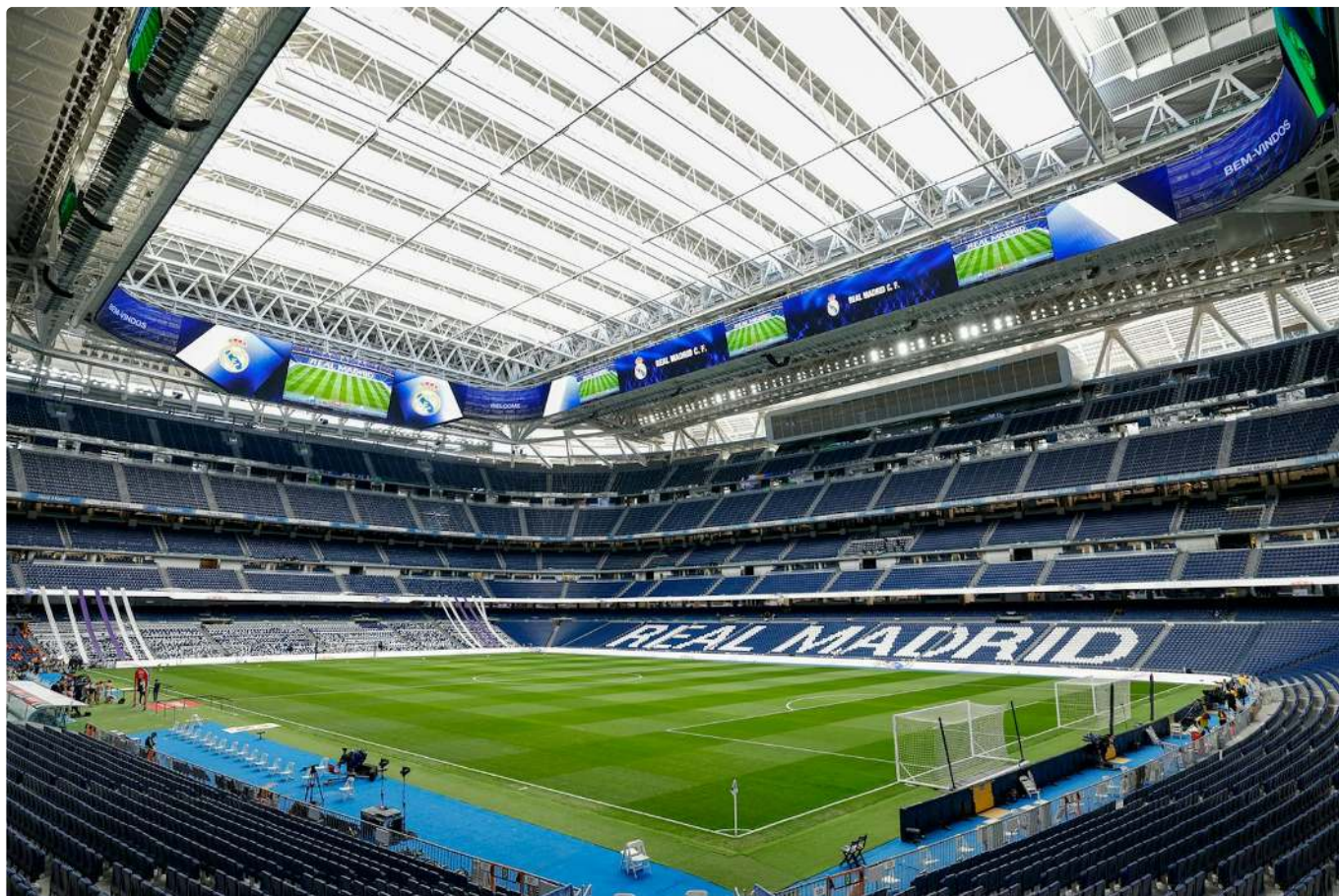
スタンドの上層階からピッチ全体を撮るのがベストショットです。フラッシュは博物館内では禁止ですが、ピッチサイドでは自由に撮影可能です。

ENFANTS

子供向け割引があるため、家族で訪れる際は公式サイトで条件を確認してください。インタラクティブ展示が多く、子供も楽しめる構成になっています。

CONFORT

歩きやすい靴を履いてください。階段が多い箇所もありますが、エレベーターも利用可能です。夏季は屋内でも暑いことがあるので、薄手のジャケットを持参しましょう。



よくある質問

よくある質問

ベルナベウスタジアムの見学はいくらですか？

標準のセルフガイドツアーの料金は41€から始まります。クラブの専門家による公式ガイド付きツアーなど、優先アクセスや独占的なエピソードを提供するプレミアムオプションもあります。年齢や選択したアクセスタイプによって料金が異なります。

待ち時間を避けるために事前に予約する必要がありますか？

はい、特にハイシーズン（夏）や週末にはオンライン予約を強くお勧めします。これにより、窓口での長い列を避け、希望の時間に確実に入場できます。オフシーズンでは予約なしで行ける場合もありますが、リスクが残ります。

グループや学校向けの割引はありますか？

学校グループや子供向けに特別料金が設定されており、通常は大人標準料金よりも安くなります。団体予約については、組織に直接連絡するか、公式サイトで専用オファーを確認することをお勧めします。条件は時期によって異なる場合があります。

ベルナベウスタジアムの見学には具体的に何が含まれますか？

見学にはロッカー室、選手用トンネル、ベンチ席、クラブ博物館へのアクセスが含まれます。15個のチャンピオンズリーグトロフィーを含むトロフィーコレクションを鑑賞し、スタンドの一部の階層にもアクセスできます。このコースはリアル・マドリードの世界に完全に浸るよう設計されています。

フランス語での見学は可能ですか？

はい、観光客向けにガイドまたはオーディオガイドのフランス語版が利用可能です。ガイド付きツアーを選択してフランス語話者のインストラクターと同行するか、チケットに含まれるオーディオガイドを使用して詳細な説明を理解することもできます。このオプションにより、フランス語圏のすべての層がアクセスしやすくなります。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

照明の革命

1957年の初代照明は400ルクスしかありませんでした。現代の1,400ルクス以上と比較すると、夜間試合の難しさが想像できます。この技術的進化が、欧州カップの成功を支えました。

名前の変更理由

1955年、会長サントス・ベルナベウへの敬意から改名されました。彼はクラブの近代化を主導し、このスタジアムなしでは今のリアル・マドリードは存在しないでしょう。

収容数の変化

かつて125,000人を収容しましたが、安全性の向上のため現在は83,186席に減らされました。しかし、快適性と没入感は大幅に向上しています。

4度のCL決勝開催

1957年、1969年、1980年、2010年の4回、UEFAチャンピオンズリーグ決勝が開催されました。欧州サッカーの中心地としての地位を確固たるものとしています。

博物館 周辺

スタジアム見学を終えた後は、隣接するサラマンカ地区での散策をお勧めします。高級ブティックとオスマン様式の建築が並び、マドリードの洗練された雰囲気を存分に楽しめます。パセオ・デル・プラド沿いには、伝統的なタパスバルから洗練されたレストランまで多数のお店があります。特にカステラーナ通り周辺は、グルメ好きにとって天国のようなエリアです。少し足を延ばせば、レティロ公園にもアクセス可能で、壮大な庭園の中で心を落ち着けることができます。また、ソローリャ美術館では印象派の傑作に触れ、芸術的な安息の時間を過ごすこともできます。これらのスポットを組み合わせ、一日を充実させましょう。



サンティアゴ・ベルナベウを訪れることは、単なる観光ではありません。それは、サッカーという文化の核心に触れる儀式のようなものです。トロフィーケースの前に立ち、15回のチャンピオンズリーグ優勝の重みを肌で感じるとき、あなたは歴史の一部となっているのです。この場所があなたに与えるインスピレーションは、帰国後も長く心に残ることでしょう。夢を見る場所として、そして記憶を作る場所として、ベルナベウは永遠にあなたの心に刻まれるはずです。